

平成23年度第1回（第19回）磯辺地区学校適正配置地元代表協議会 議事要旨

1 日 時 平成23年5月23日（月） 10時～11時

2 場 所 磯辺地域ルーム（磯辺第一中学校内）

3 出席者

(1) 委 員 20人

欠席：加藤委員、池上委員、滝川委員、安達委員

(2) 事務局 高須課長、白井主幹、加茂主査、山崎主査補、安井主査補

(3) 傍聴者 12人

4 報告・議題

(1) 平成23年度協議会委員の確認

(2) 【報告】平成22年度の合意事項について

(3) 【議題1】中学校の統合について

(4) 【議題2】次回開催日時・場所について

5 会議資料

(1) 資料1 平成23年度磯辺地区学校適正配置地元代表協議会委員名簿

(2) 資料2 第1回磯辺地区学校適正配置地元代表協議会

6 会議の概要

(1) 平成23年度協議会委員の確認

資料1「平成23年度委員名簿」について確認・了承され、教育委員会ホームページに公開することとした。

(2) 【報告】平成22年度の合意事項について

事務局が資料2をもとに平成22年度の合意事項について報告し、委員に確認された。

(3) 【議題1】中学校の統合について

事務局が資料2をもとに中学校の推計と統合シミュレーション及び校舎等の状況についての説明を行い、「中学校の統合の時期と場所」が平成23年度に協議すべき事項であることが確認された。

その後の協議では、「統合時期は小学校と同時（平成25年4月）が良い」という意見が大半を占めた。また、統合場所については「磯辺一中が良い」という意見が多かった。

そこで、協議内容をそれぞれの団体に持ち帰り伝達した上で、次回協議会で決定することが確認された。

(4) 【議題2】次回開催日時・場所について

今年度の協議会も昨年度同様月曜日の午前中に開催することが合意され、次回は平成23年6月27日（月）午前10時から12時、磯辺地域ルームで開催することとした。

7 発言要旨

(1) 会長挨拶

この適正配置については、距離が問題ではなく、学校の在り方・規模が大切であると考え
る。そして、教育内容をはじめ、学校の中味、つまり質の問題が大切である。子どもたちの
学校が立派な学校になってもらいたいという考えで協議していただきたい。

磯辺地区は他の地域に比べてたいへん恵まれた環境にある。是非この地域の学校を、良い
学校にしていきたい、子どもたちに大きな人間になってもらいたいという視点で進めていた
だきたい。

(2) 教育委員会企画課長挨拶

本日は第19回目の協議会となる。平成20年2月に1回目スタートし、3年にわたり
真摯な協議を続けてきていただいている。

小学校については、磯辺一小・二小・四小の統合が合意されており、今後は中学校の統合
について協議していただくことになる。本年度もぜひよろしくお願いしたい。

(3) 報告

報告1 平成22年度の合意事項について

<鳥越議長>

まず、事務局に資料の説明をお願いします。

<事務局>

資料2にあるように、

- ・磯辺地区の小学校4校を2校に適正配置する。具体的には、磯辺第一小学校・磯辺第二
小学校・磯辺第四小学校の3校を統合し新設校として開校するとともに、磯辺第三小学
校は高浜6丁目を学区に組み入れて存続させる。
- ・小学校の統合時期は平成25年4月とする。
- ・小学校の統合場所は、磯辺第四小学校の位置とする。

この3点が「平成22年度の合意事項」である。

付け加えて、平成23年度の協議すべき事項は、

- ・中学校の統合の必要性については合意されており、これからは統合時期、統合場所に
ついて協議する。
- ・少なくとも小学校の統合については、平成23年9月初めまでに「要望書」として取り
まとめ、教育長に提出する。

の2点であることを確認いただきたい。

「推計と統合シミュレーション」については、資料2の2ページのとおりである。

また、資料はないが、震災による磯辺地区の小中学校の被害状況とその対応について、補足
説明する。

- ・震災後、被害状況について直ちに調査し、3月中に給排水設備等の復旧および応急修繕
は完了している。
- ・液状化による被害の大きな学校施設から、順次復旧工事を進めており、磯辺二小と四小
については、5月末から工事に入る予定である。

- ・統合場所となる磯辺四小は、新基準のため、校舎・体育館は問題がなかった。
 - ・前回（第18回）協議会において、事務局から「磯辺四小での居ながら施工も可能」という説明を行ったが、最終的に可能かどうか現在検討中である。
- もしできない場合は、仮校舎が必要となる。わかり次第、回答したい。

<鳥越議長>

質問はあるか。

<近藤委員>

液状化の対策について事務局から説明があったが、どの程度の工程で復旧工事を行っているのか。

<事務局>

震災による被害によって、子どもたちの様々な教育活動が制限されている。まずは、教育活動に支障がないような状態にするための復旧工事を進めている。

(4) 議題

議題1 中学校の統合について

<鳥越議長>

議題1に入りたい。まず、事務局に資料説明をお願いする。

<事務局>

先程も確認したように、中学校の統合については既に合意されており、「統合の時期」と「統合の場所」を協議していただくことになる。

資料2の「2 推計と統合シミュレーション」の「(2) 中学校」において、

- 3ページ上段左の表は、中学校を統合せず、現学区の場合の両中の規模
- 3ページ上段右の表は、中学校を統合せず、25年4月の小学校の統合に伴って学区変更（磯辺一小区をすべて磯辺一中区、磯辺二中から磯辺一小区及び高浜3丁目を除いた）した場合の両中の規模
- 3ページ下段の表は、中学校が統合した場合（高浜中学校区となる高浜3丁目を除く）の規模
- 4ページは、磯辺一中・二中の校舎の状況（土地所有者・校地面積・教室数・耐震補強の必要性などの状況）

を示している。参考にして協議を進めていただきたい。

また、小学校との同時統合の場合、統合に向けた準備を十分にとること等の理由から、統合の要望書は9月初めに出していただくことになる。

<鳥越議長>

確認の意味で事務局から説明してもらった。今後は、中学校の「統合の時期」と「統合の場所」を協議していく。

まず、「統合の時期」について、1人ずつ意見ををお願いしたい。

<盛田委員>

中学校はできるだけ早く統合していただきたい。小学校と同時が良い。磯辺一小は、磯辺一中と磯辺二中に学区が分かれているので、小学校の統合に伴い兄弟が分かれてしまうことも起きてくる。より良い方向として、中学校の統合を進めていただきたい。

（*注釈：兄弟関係による学区外通学については、申請すれば認められている。）

<大和田委員>

磯辺二小としては、前年度と同様、2度の統合を避けるという意見で進めてきており、小学校と同時が良い。

<位田委員>

磯辺地区の子どもたちのことを考えると、早い時期の統合が望ましいと考える。

<(磯辺第四小保護者代表)委員>

磯辺四小としては、小学校の統合時期と同じに中学校も統合していただきたい。

<磯川委員>

磯辺一中としては、できるだけ早い時期に統合し、小学校と同時期にお願いしたい。

<山本委員>

磯辺二中は、磯辺地区と高浜地区から子どもたちが通っている。それをよく考えていただき進めていただきたい。初めての参加で経緯がわからないが、協議会では中学校の統合は決まっているのか。

<鳥越議長>

中学校の統合の必要性は、協議会の中で既に合意されている。

<松岡委員>

高浜二小は来年度統合となり、中学校は希望すれば磯辺二中を選択できる。どちらにしても中学校の統合は後になると思うので、統合を2度経験する子どもも出てくる。保護者の気持ちを考えると、続けての統合は避けたいだろうと考える。

<高橋委員>

小学校と中学校の統合を同時期にするのが良い。

<近藤委員>

時期は小学校と同時が良い。何か支障が出れば検討していき、できるだけ同じ時期で進めるのが良い。

<山崎委員>

中学校は、小学校よりいろいろな問題があるので時間がかかると思うが、小学校統合の1年遅れの平成26年に統合するのが良い。

<谷口委員>

小学校と中学校を同時に統合した方が良いと考えるが、震災対策、その他の予算の関係上、1年遅れとなってもやむを得ないかなとも考える。中学校も25年4月の統合が良いが、26年となっても仕方がない。

<青柳委員>

小学校の統合については、今年の9月までに要望書を出していくことになる。中学校についても、これから協議していくわけだが、9月に間に合えば、小学校と同時が良い。

<一戸委員>

予算の関係も考えなければならないが、なるべく子どもたちの転校する回数を少なくしていただきたい。

<関委員>

小学校と中学校が一緒が良い。そうすると9月までに要望書を出さなくてはならない。中学校の統合は合意されているので、これに間に合うような手順で進めていただきたい。

<大浦委員>

小学校の交流事業や準備期間を延ばしても、中学校の統合を先にした方が良い。統合を経験した小学生を受け入れる中学校としても、小学校より先に統合した方が良いと思う。

<藤岡委員>

小学校と中学校の同時進行が良い。小学校を統合した後に中学校が統合されると、子どもたちの精神的な負担を考えた場合、たいへん気の毒である。

<鳥越議長>

委員のみなさんの意見を聞いたところ「統合の時期は、小学校と同時期が良い」という意見が大半である。

次に、「統合の場所」について意見ををお願いしたい。

<盛田委員>

磯辺一中の方が校地面積や校舎の保有面積など広く、子どもたちにとっては学習活動や部活動などで環境的に良いと思う。耐震等の工事は夏休みなどに行われるのか聞きたい。子どもたちに支障がないと良い。

<大和田委員>

磯辺一中を希望する。校庭が広く、部活動面などで子どもたちも活動しやすいと聞いている。

<位田委員>

磯辺二中は耐震補強が必要ないが、子どもたちが毎日過ごすことを考えると、校庭や校舎が広い磯辺一中になるのかと思う。

<(磯辺第四小保護者代表)委員>

校庭の広さや他の面からも、磯辺一中が良い。

<磯川委員>

磯辺一中は校庭が広く、部活動などの公式戦の会場となることが多い。他校の生徒が公共交通機関を利用してくると考えると、一中の方が便利である。

<山本委員>

磯辺二中が基本的には良い。磯辺一中は、確かに校庭等は広く良いと思うが、企業庁の土地であるということが引っかかる。

<松岡委員>

高浜地区から通っている子どもたちのことを考えると、磯辺二中の方が近くて良い。

しかし、この磯辺地区の協議会で決定することに対しては、異論はないと思う。

<高橋委員>

やはり校庭の広さから考えると、磯辺一中が良い。

<近藤委員>

磯辺地区の中心と考えると、磯辺一中になる。真砂地区では、中学校の統合場所が旧真砂一中となった経緯について、隣の旧真砂二小の校庭や体育館を使えるという理由があったと聞いている。磯辺一中も、隣の広場等を使える可能性もあり得る。

<鳥越議長>

希望的観測も含めてのご意見かと考えるが、磯辺一中が良いということと捉えた。

<山崎委員>

耐震補強が必要ないということから、磯辺二中が良い。耐震補強をすると柱が入り、教室が暗くなる。高浜3丁目の子どもたちは、ほとんどが磯辺二中を希望している。

<谷口委員>

耐震工事を除けば、校庭の広さや教室数などから磯辺一中が良い。

<青柳委員>

磯辺一中が良い。耐震補強の必要があるということだが、それ以外の条件を考えると磯辺一中かと思う。

<一戸委員>

磯辺一中はあまり入ったことがないのでよくわからないが、磯辺二中についてはよく理解している。高浜5丁目の住民は、磯辺二中を希望している。個人的には、磯辺一中の環境も良いと思うが。

<関委員>

地域に小・中学校をバランスよく配置するという観点から見ても磯辺一中となる。現在の状態を考えても、磯辺一中の方が適した環境である。

<大浦委員>

山崎委員と同じで、関東大震災に耐え得る基準をクリアしている磯辺二中が良い。耐震補強の柱が入ると暗くなる。新基準の磯辺二中が良い。

<藤岡委員>

耐震工事をしても磯辺一中が良い。どちらの学校にしても老朽改修は必ず行わなければならないので、工事が必要となる。校舎の教室数や校庭の広さなどを考えても、磯辺一中となる。

<鳥越議長>

委員のみなさんの意見を聞いたが、「統合場所は、磯辺一中が良い」という意見が多いと考える。

<事務局>

磯辺一中の耐震補強について、各委員から出されているので、担当課に確認して、次回の資料として示したい。

中学校の統合に関しては、どちらにしても仮校舎が必要となる。仮に、統合場所が磯辺一中となった場合は、仮校舎は二中となり、磯辺二中となった場合は、仮校舎は一中となる。盛田委員から、夏休みなどの長期休業中だけで工事ができるのかとあったが、仮校舎で子どもたちは過ごすことになるので支障はない。工事の中味については、工事専門の担当ではないので、今のところわからないが、子どもたちのより良い教育環境となるよう整備していく。また、磯辺一中の場合、中央の校舎 (Is値0.48) と、地域ルームがある校舎の地域ルーム側 (Is値0.59) が耐震補強の必要 (Is値0.6未満) な箇所である。老朽改修については、校舎内の壁や床、校舎外の外壁などの改修を中心に行っている。

資料2の1ページの学区図を見ていただきたい。磯辺三小と磯辺二中は千葉市の土地である。

その他の学校用地はすべて企業庁の土地であり、企業庁の土地が学校用地でなくなった場合は、契約上は全部取り壊し、原状になおして返却しなければならない。地域による跡施設利用の要望があれば、市だけでなく企業庁にあげていただくことになる。磯辺三小や磯辺二中などの千葉市の土地が跡施設になった場合は、全庁的に（市全体で）跡施設活用について考えていくことになる。

<鳥越議長>

耐震の内容については、事務局より次回の協議会で示していただく。

本日の協議会では、場所については「磯辺一中が良いという意見が多かった」としておく。

<事務局>

では、「中学校の統合については、時期は小学校と同時期が良いが大半を占め、統合の場所は、磯辺一中が良いという意見が多かった」ということで本日の協議はまとめさせていただく。

耐震工事に関することは次回の資料として示したい。

<別所副会長>

確認するが、各委員が所属団体に「今日の協議では、中学校の統合時期は小学校と同時の平成25年4月、統合場所は磯辺一中という意見がほとんどであった」という状況を伝えるとともに、次回の協議会で合意を図るということでもいいか。

<鳥越議長>

本日の協議の「統合の時期は、小学校と同時期が良い」と「統合の場所は、磯辺一中が良い」という意見について各団体に下ろして伝達をお願いしたい。

次回に持ち寄り、再度確認して決定していきたい。

議題2 次回開催日時・場所について

<鳥越議長>

次回の開催日時・場所を決めたい。昨年度は委員の事情を鑑み、月曜日の午前中に協議会を開催したが、今年度も同様としてよろしいか。(異議なし)

今回は、6月27日、月曜日の午前10時から12時まで、会場は本日同様磯辺地域ルームとしてよろしいか。(異議なし)

この会は傍聴可能なので各団体のみなさんに開催日時の連絡をお願いしたい。

(5) 諸連絡

<事務局>

○議事要旨をHPに公開したいがよろしいか(異議なし)。後日委員の皆さんには案を送付するので訂正等あったら期限までに返送をお願いしたい。返送がない場合は変更なしと見なす。

次回欠席の場合はご連絡いただきたい、代理出席も可能、その点も連絡いただきたい。

○本日の協議の状況について各団体に持ち帰り、伝えていただきたい。

(6) 閉会

<吉岡会長>

本日はお忙しい中、お集まりいただき感謝する。中学校の統合についても、ようやく合意がつきそうで安心した。この地域の学校の教育内容を高めていくこと、子どもたちに大きな人間になってほしいという視点で、これからもぜひご協力をお願いしたい。